

2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 家庭科 1年 年間指導計画及び評価規準

使用教科書：技術・家庭（開隆堂出版） 年間授業時数：35時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	家庭分野のガイダンス	1	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校家庭科の学習をふり返るとともに、3学年間の学習内容の見直しをもつ。 ○各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートや話し合いによって、これまでの自分をふり返る。 ・自立と共生について考える。 ・教科書の目次・見取り図から中学校での学習内容をイメージする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・家族とのかかわりについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・よりよい家庭生活の実現に向けて、家庭生活について工夫し創造し、実践しようとしている。
4 ・ 5	①今の自分とこれまで	1	○自分の成長と家族や地域の人びとのかかわりと自分自身の理解を深める。	・教科書の例を参考に支えてくれた人を思い出す。			
	②わたしの生活と家族・家庭	1	○家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。	・中学生のいる世帯の1日の生活時間のデータから、家庭の機能を支える家庭の仕事を誰が担っているかに気づき、自分ができることを考える。			
	③家庭を支える社会	1	○自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。	・小学校での学習を思い出し、家庭の働きと、それを支える活動について考える。			
	④中学生にとっての家族	1	○家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくできることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイングを通して、家族関係をよりよくする方法を考える。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の互いの立場や役割について理解している。 ・家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 		

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6 ・ 7	①食事の役割	1	○食事の役割について理解し、毎日の食事に関心をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたしの興味・関心」で自分の食生活をふり返りながら、食に関する考えを深める。 ・宇宙ステーションでの食事と日常生活の食事とを比べて、グループで話し合う。 ・ICTを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	②健康によい食習慣	1	○健康に良い食事について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康によい食習慣について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食習慣について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい食生活の実現に向け、自分の食生活について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	①中学生の発達と必要な栄養	1	○中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・食事摂取基準から中学生に多く必要な栄養素を見つけ出し、その理由を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の1日に必要な食品の種類について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	1	○食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・五大栄養素の種類について確認する。 ・食品に含まれる栄養素と、食品成分表の見かたを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	③栄養バランスを目で見て判断	1	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。 ○1回の食事を目で見て栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活にいかそう」にとりくみ、1回の食事の栄養バランスを判断できる。 ・ICTを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の1日分の献立について解決策を構想している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	1日分の献立	2	○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の「朝食」「昼食」の献立を立て、1日に必要な栄養を満たす「夕食」の献立を考えて、中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日分の献立を作成する方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	布による作品で生活を演出製作の基礎・基本	13	<p>○布を用いて生活を豊かにするものを考える。</p> <p>○製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。</p>	<p>・生活を快適にしたり、資源や環境に配慮したりするなど、自分や家族、地域の人生活を豊かにするための物を製作する。</p>	<p>・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているととにも、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。</p>	<p>・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</p>	<p>・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
12	生活の課題と実践	2	<p>○今まで学習してきた「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の中からほかの内容とも関連させて課題を設定して、課題解決に向けて計画を立て実践できる。</p> <p>○実践したことをまとめ、発表し、よりよい生活にするための新たな課題を見つけ次の実践につなげられる。</p>	<p>・これまでの学習を振り返り、改善点や課題はないか生活を見直す。</p> <p>・課題を解決したり、より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、計画を立て実践する。</p> <p>・グループで発表し合い、計画を見直す。</p> <p>・各自で実践したことをまとめ、発表する。</p> <p>・ICTを活用する。</p>		<p>・社会や環境に配慮した衣生活について問題を見いだして課題を設定している。</p> <p>・社会や環境に配慮した衣生活について考え、工夫している。</p>	<p>・よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 ・ 2 ・ 3	①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしくコーディネート	1	○衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ○自分らしい着方を工夫することができる	・TPOを設定し、衣服のデザインを考える。 ・ICTを活用する。	・衣服と社会生活との関わりと、目的に応じた着用について理解している。	・衣服の選択について問題を見いだして課題を設定している。	・衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	③つなげよう和服の文化	1	○和服の文化に関心を持ち、和服の着方を知る。	・ゆかたの着装を通して、和服の特徴を知る。	・衣服と社会生活との関わりについて理解している。		
	④上手な衣服の選択	1	○自分の衣服計画が立てられる。 ○既製服を選ぶポイントがわかる。	・手持ちの衣服で着ないものや着られなくなったものを点検する。 ・調べた衣服の表示とその意味を確認する。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	・衣服の計画的な活用の必要性について理解している。	・衣服の選択について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	①まかせて衣服の手入れ	1	○衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる	・しみ抜き体験など衣服の状態に応じた手入れの必要性を理解し、適切に手入れができる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。	・日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定している。	・日常着の手入れについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、日常着の手入れについて、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	②布の繊維に応じた手入れ	1	○取扱表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。	・洗濯で縮んだセーターを見て、なぜそうなったか考えるなど、衣服の素材や状態に応じた手入れができる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。		
	③めざそう洗濯名人	1	○衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。	・洗剤のはたらきの動画を視聴するなど科学的な理解を深め、衣服の素材に応じた洗濯が適切にできる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。		
	④補修や収納・保管	2	○衣服の傷みの状況に合わせた方法で補修ができる。 ○衣服に合わせた方法でアイロンかけや収納・保管を適切に行うことができる。	・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解できるとともに、適切にできる。	・日常着の手入れについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	

2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 家庭科 2年 年間指導計画及び評価規準

使用教科書：技術・家庭（開隆堂出版） 年間授業時数：35時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ・ 5	食品が食卓にのぼるまで ①生鮮食品の選択と保存	1	○生鮮食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。	・生鮮食品の特徴と表示内容、保存方法を知る。	・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。	・食品の選択について問題を見いだして課題を設定している。	・食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。
	②加工食品の選択	1	○加工食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて加工食品を選択できる。	・加工食品の特徴と表示内容などを知る。 ・ICTを活用する。	・日常生活と関連付け、用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。		・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	③食品の安全と情報	1	○食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できる。	・食の安全を保っているしくみを知り、食品の情報を適切に判断して選択できる。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。 ・ICTを活用する。	・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切に選択できる。	・食品の選択について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している	
5 ・ 6 ・ 7	地域の食文化	3	○地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。	・地域や季節の食材について調べる。 ・だしを使った和食の実習を通して、郷土料理や行事食のよさについて気づく。 ・「生活にいかそう」で、地域の野菜を使った手打ちうどん（あるいは郷土料理）づくりにとりくむ。 ※生活の課題と実践につなげてよい。	・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	持続可能な食生活をめざして	5	○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。	・食品ロス、食料自給率など食生活のさまざまな問題を把握し、持続可能な食生活を送るためにできることを考える。		・社会や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。	・よりよい食生活を指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、工夫し創造し実践しようとしている。 ・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9 ・ 10	①調理の計画	2	○調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。	・調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。	・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。
	②おいしさと調理	1	○おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。	・混合だしをつくるなどの体験を通して、おいしさと調理の関係を理解する。			
10 ・ 11	③ますます好きになる肉の調理	4	○肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。	・肉の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、肉の調理をする。	・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。		
11 ・ 12	④こんなにおいしい魚の調理	4	○魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。	・魚の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、魚の調理をする。	・魚に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	① 好きになる野菜の調理	4	○野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。	・野菜の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、野菜の調理をする。	・野菜に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。		
<p>調理実習に関しては、実施の可否、実施方法等については、国や都の方針に基づき、感染状況を踏まえて対応することになります。 また、感染が収まっても、食中毒の防止の観点から他の題材内容と入れ替え、時期をずらして計画を立てています。</p>							

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 ・ 2 ・ 3	①住まいのはたらき	1	○住まいの基本的な役割について理解する。 ○日本の伝統的な住まいの特徴を知る。	・住まいの役割や基本的な機能について考え、各地の気候に合わせた住まいの特徴があることに気づく。	・住居の基本的な機能について理解している。	・住生活について問題を見いだして課題を設定している。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	②住まいの空間	1	○住まいの空間の使い方について理解する。 ○さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解する。	・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。 ・ICTを活用する。	・家族の生活と住空間との関わりが分かりについて理解している。	・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	①家庭内事故への備え	1	○家庭内の事故の種類と、その原因を知る。 ○幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。	・年齢別による家庭内事故の特徴を知り、安全に住むための対策を考える。	・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・住生活について問題を見いだして課題を設定している。	
	②災害への備え	1	○地域さまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。	・自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・ICTを活用する。	・自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	
	①持続可能な住生活をめざして	5	○持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいとを知り、住まい方の工夫を考える。	・持続可能な住生活を目指して、平面計画を行い、誰もが住みやすい住まい方の工夫をする。		・社会や環境に配慮した住生活に問題を見出して課題を設定している。 ・社会や環境、すべての人に配慮した住生活について考え、工夫している。	

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ～ 10	①幼児のころと今の自分	0.5	○幼児期への関心をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の幼児期をふり返り，幼い頃の夢やエピソードなどをまとめる。 ICTを活用する。 		<ul style="list-style-type: none"> 幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。 	
	②幼児の体の発達	1	○幼児の身体の発育について，発達の方向性や順序性ととともに，個人差があることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 幼児と今の自分の脈拍の違いについて知り，幼児の体の発達の特徴について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の身体の発達の特徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児との関わり方について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 よりよい生活のために，幼児との関わり方について，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。 計画に沿って主体的に製作に取り組もうとしている。 	
	③発達にとってのおとなの役割	1	○子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとなの役割について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 幼児が基本的な生活習慣を身につけていく過程での家族や周囲のおとなの役割を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 		
	④遊びが必要なわけ	1	○自分の実践的・体験的な活動を通して，幼児にとっての遊びの意義を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 幼いころに遊んだ経験を思い出し，幼児がいろいろな遊びで育つ力について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児にとっての遊びの意義について理解している。 		
	⑤遊びを支える環境	5.5	<p>○幼児にとって遊びは生活そのものであり，十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。</p> <p>○幼児のおもちゃ「ハンドパペット」を製作する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幼児のために工夫された遊び道具や遊び場所について調べ，遊び道具の役割や遊ぶ環境について考える。 幼児の年齢にあった「ハンドパペット」のアレンジについて考え，製作をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作するものに適した縫い方について理解しているとともに，用具を安全に取り扱い，製作が適切にできている。 		

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11 ・ 12 ・ 1	①消費生活のしくみ	0.5	○物資とサービスの特徴がわかる。 ○消費生活のしくみがわかる。	<ul style="list-style-type: none"> 「わたしの興味関心」で自分の生活をふり返りながら、消費生活・環境に関する考えを深める。 自分の生活を支えているものについてあげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物資・サービスについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 商品（物資・サービス）の選択と金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	②家庭生活における収入と支出	0.5	○収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。	<ul style="list-style-type: none"> 優先順位を考え、自分にとっての計画的な金銭管理とは、どのようなことかを考え、まとめる。 「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。 ICTを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な金銭管理の必要性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し実践しようとしている。
	①いろいろな購入方法	0.5	○店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。	<ul style="list-style-type: none"> 店舗販売と無店舗販売（通信販売）の長所と短所について話し合い、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。 	
	②購入前に知っておくこと	0.5	○売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 契約の意味やルールをワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 売買契約の仕組みについて理解している。 		
	③いろいろな支払い方法	0.5	○即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 商品を購入するときは、情報を集めること、価格だけではなく、品質、表示やマーク、環境などを検討し選択することを考える。 「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 		
	④情報を活用した上手な購入	0.5	○生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 商品を購入するときは、情報を集めること、価格だけではなく、品質、表示やマーク、環境などを検討し選択することを考える。 「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。 ICTを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物資・サービスの購入について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。 	

① なくなる消費者被害	1	○消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や地域の消費生活センターの資料から中学生に多いトラブルの内容を知り、自分の経験を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者被害の背景とその対応について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
② 消費者を支えるもの	0.5	○消費者を支えるしくみについて理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> 消費者を支える機関や法律の必要性を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者被害の背景とその対応について理解している。 		<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
③ 消費者の権利と責任	0.5	○消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の8つの権利と5つの責任を身近な事例等を通して理解する。 「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の基本的な権利と責任について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現に向けて、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
① 消費行動が環境に与える影響	1	○環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。	<ul style="list-style-type: none"> 環境を考えて家庭でも取り組めることを具体的に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 		
② 世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ	1	○持続可能な生活にするために、自分たちができることを考える。	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの特に12の目導における自分の取り組み方に就いて考える。 「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。 ICTを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。 	

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2	持続可能な住生活をめざして	1	○持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。	・持続可能な住生活のために、課題を見つけ、改善方法を考える。		・社会や環境に配慮した住生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した住生活について考え、工夫している。	・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている
3	3年間をふり返って	0.5	○3学年間の学習を振り返り、多くのことができるようになったことに気づく。	・内容ごとにふり返らせ、これからの生活で生かしていきたいことを考える。			・家庭分野で学習したことをこれからの生活に生かそうとしている。